

## 水道水と飲用水

### Q. 水道水を10点満点で採点すると？

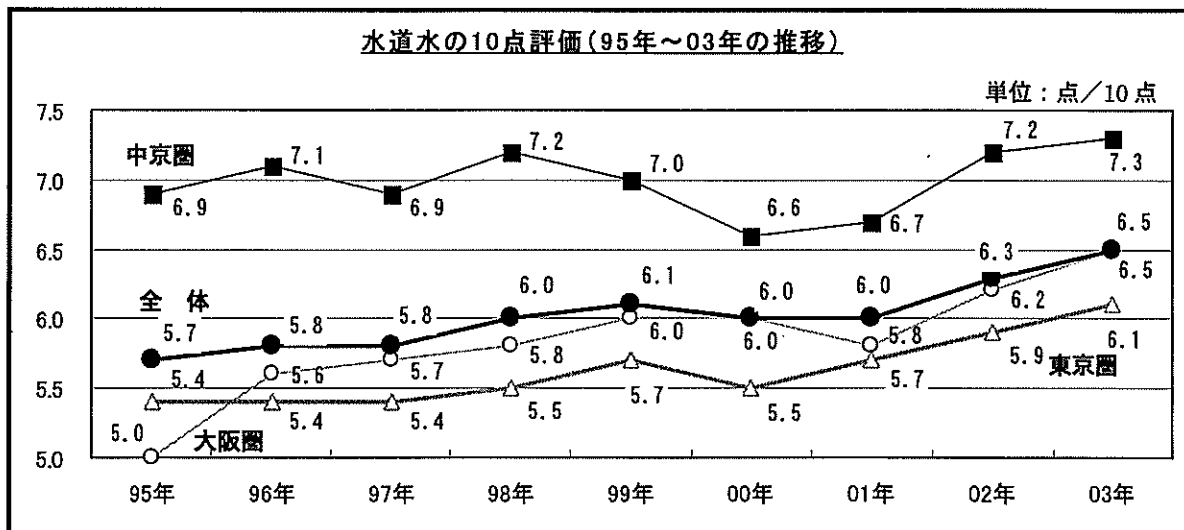
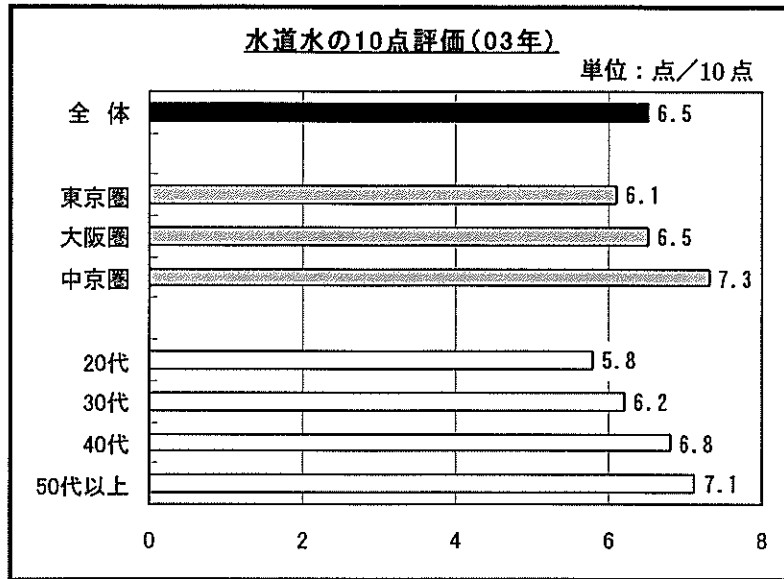
◇全体では6.5点、5年前（98年）に比べて0.5点アップ

◇東京圏（6.1点）と中京圏（7.3点）で1点以上の差、年代が低いほど厳しい評価

全体では昨年より0.2点アップの6.5点でした。5年前の98年と比べると0.5点アップしており、水道水の評価は徐々に良くなってきているといえます。

居住地別に見ると、中京圏は7.3点と相対的に評価が高く、東京圏（6.1点）とは1.2点の差が出ました。

一方、年代別では、年代が高くなるほど水道水に対する評価が高くなり、20代（5.8点）と50代以上（7.1点）では1.3点の開きがありました。



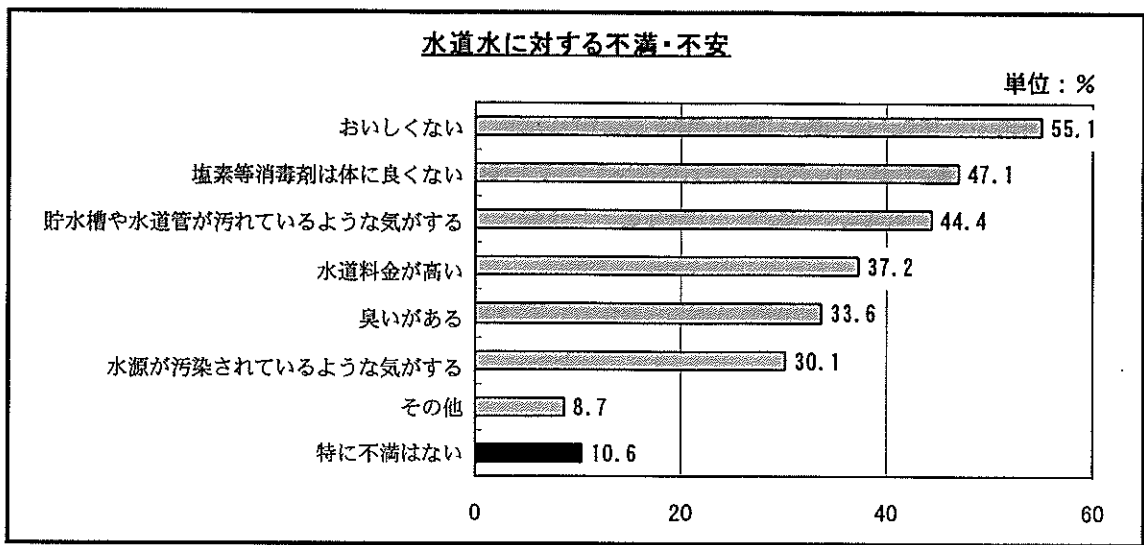
### Q. 水道水について不満を感じていることは？（複数回答/9択+その他）

◇『おいしくない』が過半数の55.1%でトップ、『特に不満はない』は1割強

◇『おいしくない』は東京圏64.1%、中京圏38.5%と大きな開き

水道水に対する不満のトップは『おいしくない』で半数以上の55.1%に達しました。『特に不満はない』は1割強（10.6%）にとどまりました。

居住地別では、相対的に中京圏の不満が少なく、東京圏が多いという傾向が見られ、『おいしくない』は東京圏64.1%に対して中京圏38.5%と25.6ポイントもの差がつかしました。また、『特に不満はない』は中京圏が2割近く（18.5%）に達しているのに対して、東京圏（7.8%）、大阪圏（8.7%）は1割に届きませんでした。



「水道水に対する不満」居住地別比較

	全体	東京圏	大阪圏	中京圏
おいしくない	55.1%	64.1%	52.9%	38.5%
特に不満はない	10.6%	7.8%	8.7%	18.5%

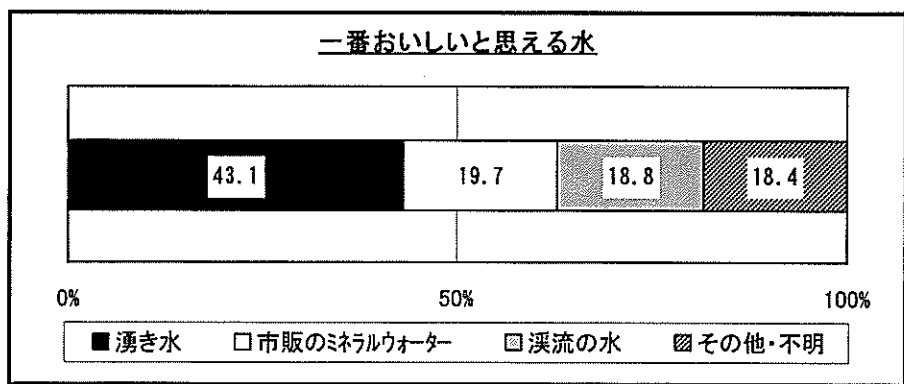
**Q. あなたにとって一番おいしいと感じる水は？ (7 択+その他)**

◇トップ3は『湧き水』、『ミネラルウォーター』、『溪流の水』

◇水道水は2.2%にとどまる

都市生活者がおいしいとイメージしている水はどんな水でしょうか。

結果は、トップの『湧き水』(43.1%)以下、『市販のミネラルウォーター』(19.7%)、『溪流の水』(18.8%)、『浄水器を通った水』(6.1%)、『井戸水』(6.1%)の順位でした。ちなみに『水道水』は2.2%でした。



**Q. 日常、あなたがよく飲む飲料は？ (13 択)**

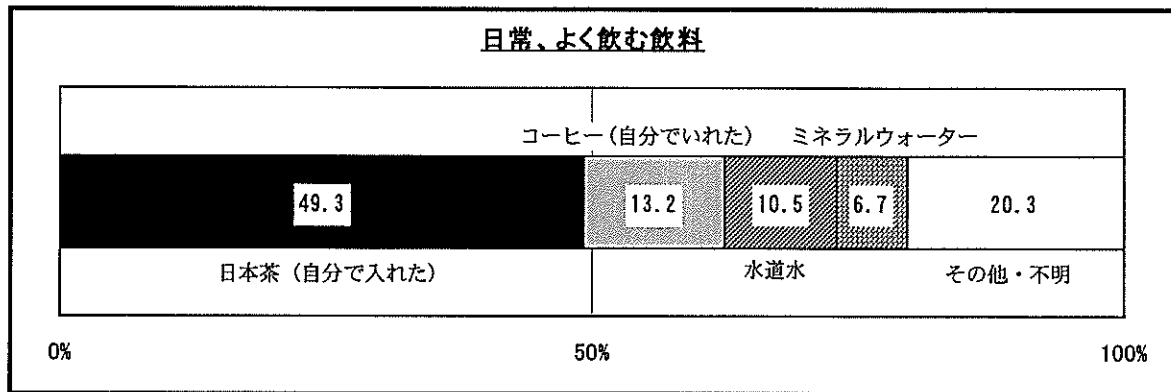
◇トップは『自分で入れた日本茶』、『水道水』は1割強で第3位

◇『水道水』を飲むのは、50代以上(19.1%)、男性(14.0%)

都市生活者は、実際の日常生活において、どのような飲料で水分を補給しているのでしょうか。トップは『自分で入れた日本茶』で約5割(49.3%)に達しました。ペットボトルや缶入りのお茶がブームといわれていますが、まだまだ「自分でお茶を入れる」という習慣は健在のようです。お茶が健康飲料として見直されていることも一因かもしれません。

注目すべきなのは、『水道水』（10.5%）が、『ミネラルウォーター』（6.7%）などを抑えて3位に入っていること。何かと不満が多い水道水ですが、日常の水分補給にはなくてはならない存在といえそうです。

『水道水』について属性別に見ると、まず年代では20代の4.1%、30代の4.6%に対して、40代では14.0%、50代以上では19.1%と、20代・30代と40代・50代以上で大きな差が出ました。男女別では男性（14.0%）が女性（6.7%）の約2倍。居住地別では、大阪圏が5.8%と東京圏・中京圏に比べて低いという結果になりました。



**日常生活で『水道水』をよく飲むのは？**

全体	20代	30代	40代	50以上	男性	女性	東京圏	大阪圏	中京圏
10.5%	4.1%	4.6%	14.0%	19.1%	14.0%	6.7%	11.7%	5.8%	12.6%

**Q. 災害等で水道が止まってしまったら？**

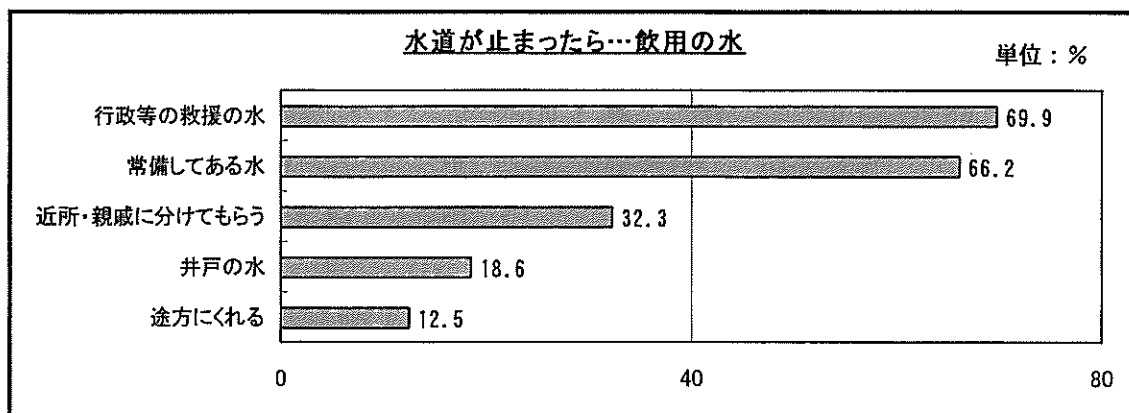
- ◇ 『行政等の救援の水』を期待
- ◇ 「トイレ」「風呂」は『雨水』や『川の水』の利用も想定

地震などの災害により家庭の水道が止まってしまった場合、「飲み水」「料理」「洗面」「風呂」「水洗トイレ」それぞれに使う水をどうするか聞ききました。

その結果、「水洗トイレ」以外は『行政等の救援の水』を使うという回答がトップでした。直接口にする「飲用」や「料理」は『常備してある水』の比率も高く、「風呂」や「水洗トイレ」では『雨水』や『川の水』など“自然の水”の使用を想定している人も見られました。

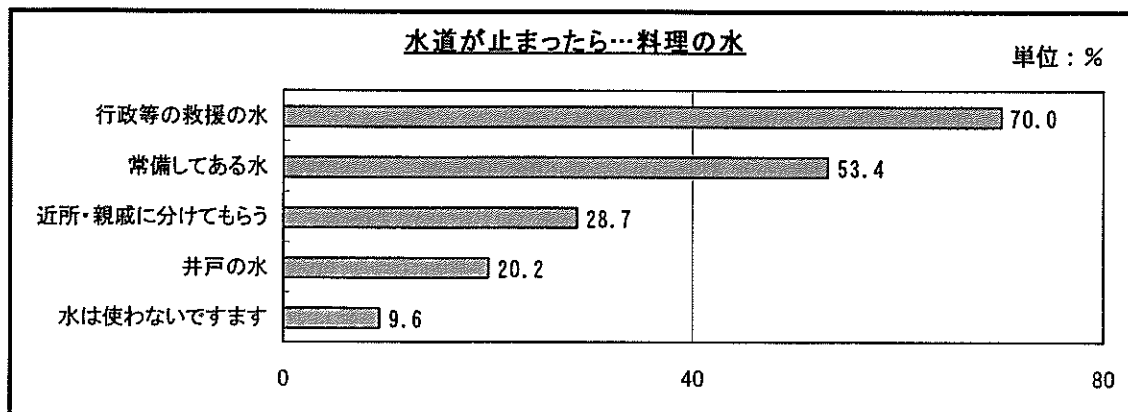
**■ 飲用に使う水（10択+その他/複数回答）**

そのまま口に入れる「飲用の水」。トップは『行政等の救援の水』で69.9%、『常備してある水』（66.2%）が僅差で続きました。



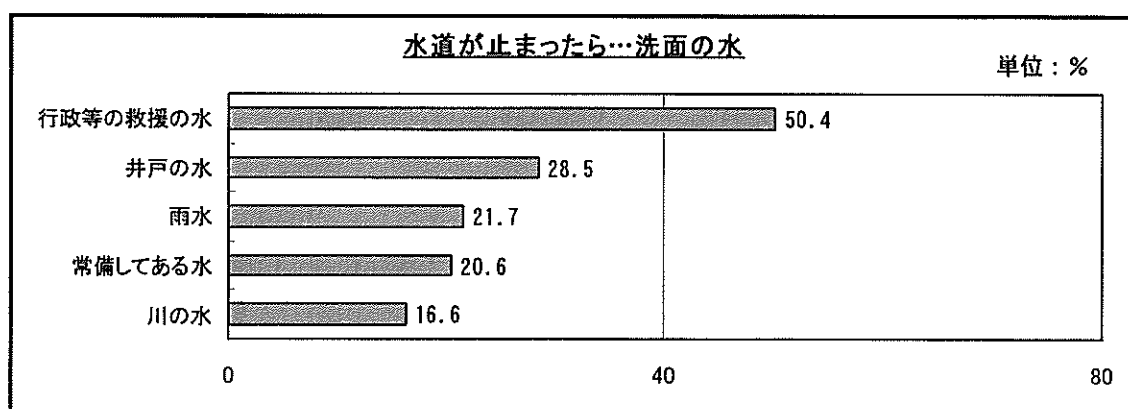
### ■料理に使う水（10択+その他/複数回答）

加熱して摂取する「料理に使う水」もトップは『行政等の救援の水』（70.0%）。以下、『常備してある水』（53.4%）、『近所・親戚から分けてもらう』（28.7%）などと続き、おおよそ「飲用」と同じような結果でした。



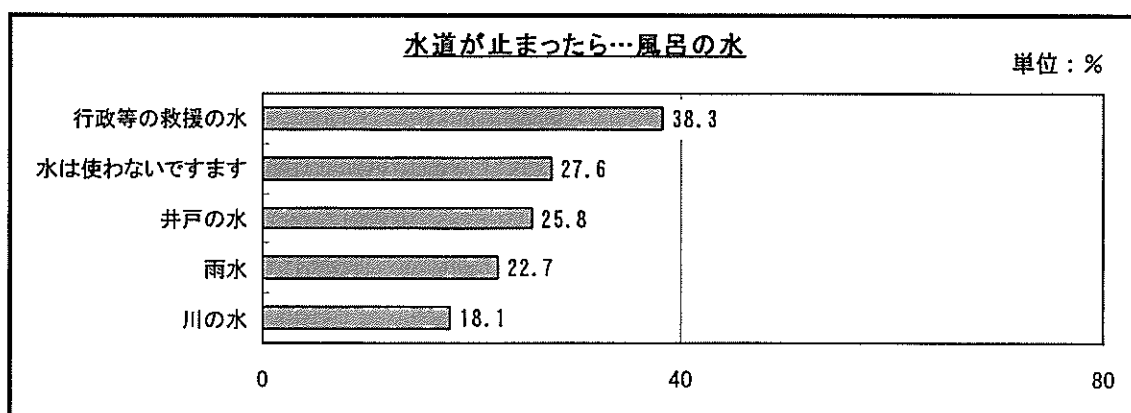
### ■洗面に使う水（10択+その他/複数回答）

「洗面に使う水」も1位は『行政等の救援の水』（50.4%）でしたが、3位『雨水』、5位『川の水』など“自然の水”の利用も想定されています。



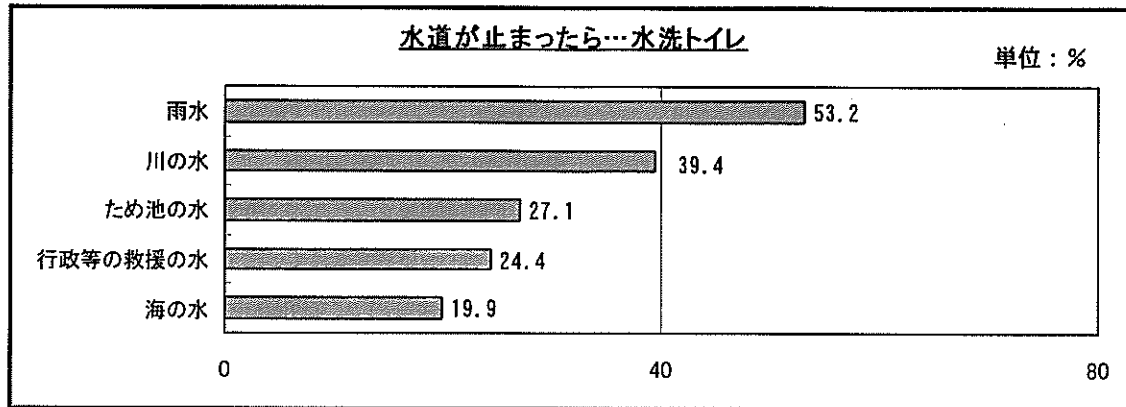
### ■風呂に使う水（10択+その他/複数回答）

すぐに命にかかわることのない「風呂」ですが、「飲用」や「料理」と同様にトップは『行政等の救援の水』（38.3%）でした。『使わないですます』が27.5%で2位に入りました。



## ■水洗トイレに使う水（10択+その他/複数回答）

水洗トイレの普及は、衛生的な生活をもたらしてくれましたが、水がなかったら汲み取り式よりも始末に困ります。さすがに、口にすることも、肌に触れることもない水だけあって、1位『雨水』、2位『川の水』、3位『ため池の水』と“自然の水”が上位に入りました。



## Q.水の供給県（都道府県）として思いつくのは？（自由回答）

◇トップは東京圏が『長野』、大阪圏が『滋賀』、中京圏が『長野』

大都市圏の生活は、安全できれいな水を安定的に供給してくれる水源によって成り立っているといえます。思いつく水の供給県を聞きましたが、昨年までの調査と同様、概して居住地に近い県を挙げる傾向が見られました。

### イメージする水の供給県トップ3

〔単位：%〕

	全体		東京圏		大阪圏		中京圏	
1	長野県	23.3	長野県	24.9	滋賀県	72.5	長野県	35.6
2	滋賀県	23.1	群馬県	14.9	長野県	8.0	岐阜県	19.3
3	群馬県	7.6	神奈川県	8.5	北海道	4.3	滋賀県	8.1

## Q.もっともおいしい水が飲めると思う都道府県と国は？（自由回答）

◇もっともおいしい水が飲めるのは9年連続で『長野県』

もっともおいしい水が飲めると思う都道府県は9年連続で『長野県』（31.8%）、国は同じく9年連続で『日本』（47.8%）でした。

### もっともおいしい水が飲める都道府県トップ3

〔単位：%〕

	全体		東京圏		大阪圏		中京圏	
1	長野県	31.8	長野県	31.7	長野県	38.4	長野県	25.2
2	北海道	11.9	北海道	14.2	北海道	12.3	岐阜道	11.9
3	山梨県	7.4	山梨県	8.5	兵庫県	6.5	山梨県	9.6

### もっともおいしい水が飲める国トップ3

〔単位：%〕

	全体		東京圏		大阪圏		中京圏	
1	日本	47.8	日本	42.3	日本	44.9	日本	62.2
2	スイス	26.2	スイス	28.5	スイス	26.1	スイス	21.5
3	フランス	11.4	フランス	13.9	フランス	13.0	フランス	4.4